

令和4年度 新潟大学後期日程入試 総合問題（人文学部）

問1

〈解答例〉混乱して怯える大勢の少年少女たちを見たある女性は、その約50名を近くのホテルの安全な場所に誘導し、親に自分の子どもたちを迎えてもらえるよう、自らの電話番号をソーシャルメディアでシェアした。

問2

〈解答例〉互恵的利他主義において他者への善行は、自分への親切行為といった見返りを期待した上でなされ、それはまたリソースを誇示することで魅力を上げ、自分の繁殖可能性を高めるための方法だとさえ考えられるから。

問3

〈解答例〉純粋な利他主義とは、見返りへの期待ではなく、共感に根ざしたものである。共感とは、他者の経験を想像するだけでなく、他者の気持ちや感情を感じ取ることができる能力である。他者の苦しみを感じることで、その苦しみを和らげたいという衝動が生まれ、それが純粋な利他的行為につながることになる。

問4

〈解答例〉

この感覚が、私たちが自分と他者を重ね合わせ、他者の苦しみを感じそれに利他的行為で応えることを可能にしている。

問5

〈出題の意図〉

本文では、まずテロ事件後に見られた人々の利他的行為が取り上げられ、最終的には共感にもとづく「純粋な利他主義」が他者との絆を形成すると論じられている。人間本性に関するこのような主張に対して、そもそもなぜテロ（ひいてはさまざまな暴力）が起こりうるのかということを考慮し、共感やそれにもとづく利他的行為が対人関係や社会の形成にもたらす価値と限界について、批判的かつ多角的な議論（倫理、正義、宗教、文化等の観点）が展開されていることを重視する。